

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

教科名	英語
第1推薦	2 東書
第2推薦	61 啓林館

(英語) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
2 東書	観点1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に Our Goal として、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載している。 二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等について聞く・読む・書く活動、歌やチャンツを設定している。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元末の「Enjoy Communication」において、話す活動、小テーマ毎（年間3回）の最後に「Check Your Steps」を設定している。 巻末に絵カード資料、辞書として活用できる資料「Picture Dictionary」がある。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> 1ページ1時間扱いの見開き構成となっている。新ユニバーサルデザイン書体で、4線ノートの幅や線種、基線の色使いが示されている。第2線と基線の間幅が広く、文字の形や高さを区別しやすくしてある。 ユニバーサルデザインの視点から、活動が紙面上の定位置に配置してある。 5領域に関連したキャラクターを設定し、紙面に明示している。 巻末資料、付録等として、絵カードやコミュニケーションカード等が設定されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> 対話が段階的にレベルアップしている。 言語の使用場面や働きを重視し、「Small Talk」、「Sound and Letters」が各単元に設定されている。 英語を使用する日常の場面が設定されている。5年生では日本、6年生では世界を取り上げ、視野を広げるように示されている。
9 開隆堂	観点1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や動物、食べ物等の写真、国旗と国名を掲載している。 二次元コードを活用し、ツアープランナーの話聞く活動、チャンツ、ゲーム、クイズを設定している。

	観点3	<ul style="list-style-type: none"> 各単元末に Let' s Try において、話す活動、年間2回の Project が設定してある。 巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> 識別しづらい色遣いを避け、文字を表示している。 4線の幅が4:5:4の間隔で示されている。基線を太い青色で表示している。 英語を書くときのポイントをアドバイスするキャラクター(鉛筆)等を設定している。 巻末資料、付録等として、ふろく1~8(単語リスト、絵カード等)が設定されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> 「読み・書き」は教科書後半に独立してまとめられている。 語彙等の知識を身に付けた後、表現活動で実際のコミュニケーション活動につながる構成になっている。 日常生活に関する題材を扱い、ペアやグループ活動を行うことが設定されている。
11 学図	観点1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭にレッスンの目標として、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> 単元冒頭にはレッスンのとびらとして、単元名、学習のめあてとともに、学習の進め方を掲載している。 学級の児童が行きたい場所について話している内容を聞く活動、歌を設定している。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> 単元末に Use & Check を設け、年間2回の Project Time で活用する活動を設定してある。 巻末には、や各 Lesson の「Song for Lesson」や絵カードがある。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> 4線の幅が5:6:5の間隔で示されている。 巻頭に8人の人物を紹介しており、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 巻末資料、付録等として、World List やローマ字表が設定されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> 文を提示する際、文頭の表現を揃えている。 「自分にあてはまるものだけ」、「その人になりきって」繰り返し話す活動が示されている。 やりとりや発表の活動の目的が示されている。
15 三省堂	観点1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載し、児童の興味・関心を高めている。 二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等の写真やイラスト見ながら英語を聞く活動を設定している。

	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・活用する活動の設定として Presentation が年間3回ある。 ・巻末には、辞書として活用できる資料やアルファベットカードが設けられている。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の理解をサポートするキャラクターを設定している。 ・5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定している。 ・巻末資料、付録等として、ふろく（CAN-DO リスト, Words & Phrases 等）や別紙（アルファベット表, 日本語のローマ字表）が設定されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・文及び文構造、語彙は単純なものから複雑なものへ段階的に配置するとともに、大単元の言語活動の目標に合わせて選択・配置をしている。児童の気付きにつなげるヒントを活動や脚注に入れている。 ・語彙については、全ての語彙が表現のための語彙として扱われ、大部分はイラストとともに綴りが提示されている。 ・コミュニケーション活動で利用できる語彙や表現のリストが巻末に配置されている。
17 教出	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。 ・文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載している。 ・登場人物の行きたい旅行先について映像と合わせて聞く活動、チャンツ、外国の人におすすめしたい日本旅行先について考える活動を設定している。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に Listen から Activity が展開され、Final Activity において、活用する活動を設定してある。 ・巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・配色やレイアウト、表現方法、フォントについて、カラーユニバーサルデザインで示されている。 ・障がいのある人が描いた作品を教科書に掲載し、さまざまな人々との共生に関する資料が示されている。 ・第5学年の最初の単元に10人の人物を紹介し、第6学年には新しい担任と転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 ・巻末資料、付録等として、My Word Bank やアルファベット表、絵カード等が設定されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の語順の違い等の気付きを促す活動が設定されている。 ・新たに扱う文構造については、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れられている。 ・各単元では、目標となる表現活動につなげるために、段階的に活動が設定されている。 ・各単元末の「Final Activity」では、学んだ内容を活用して、目的を持って取り組むコミュニケーション活動が設定されている。
38 光村	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の冒頭に、GOAL として、各単元の学習目標を提示している。 ・文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。

	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物等の写真やイラスト、国旗を掲載している。 ・映像を見ながら、世界の国々について会話を聞く活動やゲームを設定している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末には、Jump の Can you do it! における話す活動や Fun Time がある。 ・巻末には、辞書として活用できる資料や絵カード等が設けられている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 学年の巻頭に「主な登場人物」として、7 人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介し、第 6 学年には新たに転入生が加わり、2 学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 ・巻末資料、付録等として、学びのパスポート、ローマ字の表、絵辞典、絵カード等が設定されている。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・読むこと・書くことは、聞くこと・話すことに慣れ親しんでから、文字→単語→語句→文と、段階を踏んだ活動が設定されている。 ・重要な語彙については書く活動も含めて何度も触れられている。小学校 3 年生から慣れ親しんだ表現の復習ができる構成になっており、各単元末の「You can do it !!」では、これまで学んだ表現を使ったコミュニケーション活動が設定されている。
6 1 啓林館	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の冒頭に GOAL として、各単元の学習目標を提示している。 ・文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元がある。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国旗を掲載している。 ・夢の海外世界旅行について聞く活動を設定している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元末の「Activity」において、話す活動、各学期の最後に「Review」で、学習したことを活用する活動を設定している。 ・巻末には、辞書として活用できる資料があり、絵カード等が設けられている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての横に、児童が達成度を確認できる図が示されている。 ・巻頭に「登場人物」として、9 人の人物と 2 羽の鳥を紹介して、2 学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。 ・5 領域に関連した活動の種類を示すマークを設定している。 ・巻末資料、付録等として、アルファベット表、絵カード等が設定されている。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・文字に触れる場面を設定し、段階的に文字を読んだり、書いたりする活動が設定されている。 ・基本的な語彙は、「Listen and Play」やチャンツなどで示しており、その後の「Listen and Say」や「Listen and Do」で繰り返し活用する場が設定されている。 ・単元末の「Activity」では、学んだ表現を使ってやりとりや発表をするまとめのコミュニケーション活動を行う構成になっている。